



「岩手県大槌町大ケロ地区における災害公営住宅の整備」が地域住宅推進協議会主催の第8回地域住宅計画賞において、作品部門の地域住宅計画賞を受賞いたしました。
平成25年9月

事業骨子

大槌町は東日本大震災により大きな被害を受けた自治体の一つで、今もなお多数の方々が仮設住宅での生活を余儀なくされております。一刻も早い災害公営住宅の整備は被災者の生活再建に不可欠であり、あわせて災害により失われたコミュニティの再生に向けた仕掛けづくりが本事業に求められております。そのためにも、大槌町の再生にあたり住宅づくりの先導的役割を果たすような計画とデザイン提案に心がけました。

事業主体等

事業主体：大槌町
事業監理発注者：独立行政法人都市再生機構
基本設計：株式会社久慈設計
施工者：日本住宅株式会社
施工者：またに商事株式会社
施工者：積水ハウス株式会社
施工者：東照建設株式会社

災害公営住宅等の当社設計実績

(仮称)大槌町大ケロ地区
災害公営住宅基本設計等業務
(発注者/独)都市再生機構) (12棟・70戸)

平成24年度災害公営住宅黒田町住宅
新築工事基本・実施設計業務委託
(発注者/岩手県宮古市) (1棟・24戸)

(仮称)災害復興公営住宅(大槌町屋敷前地区)
新築工事設計業務
(発注者/岩手県) (3棟・151戸)

平成24年度美里町災害公営住宅建設
工事実施設計業務
(発注者/宮城県美里町) (21棟・40戸)

災害復興公営住宅(大船渡市下欠地区)
新築工事設計業務
(発注者/岩手県) (1棟・33戸)

三陸北部森林管理署公務員宿舎
新築工事設計業務及び施工監理業務
(発注者/三陸北部森林管理署) (1棟・13戸)

石巻市新蛇田地区災害公営住宅
新築工事設計委託
(発注者/宮城県) (10棟・353戸)

蓄光をご存知ですか？

「蓄光」とは、光を蓄えて、自己発光する消費電力0の発光技術で、東日本大震災などを機に停電・夜間時避難などの減災対策に有効と、注目を集めています。

蓄光のメリット ●高い発光性能・長い残光時間
人間の目で約8時間以上の視認性があり火災・停電・夜間時の視認性確保として有効と、消防庁でも認められています。

蓄光の施工事例

●ランニングコストがかからない
必要なのは製品を照らす太陽光や、蛍光灯などの光のみですので、ランニングコストがかかりません。

●大掛かりな施工、メンテナンスが必要ありません。
「無電源での発光」なので、大掛かりな電気配線工事等が必要なくメンテナンスも定期的に汚れを拭き取るだけです。

●屋外での利用が可能
耐水性・耐候性にも優れておりますので、屋内・屋外問わず使用が可能です。



通常時(日中) 宮城県宮城郡利府町



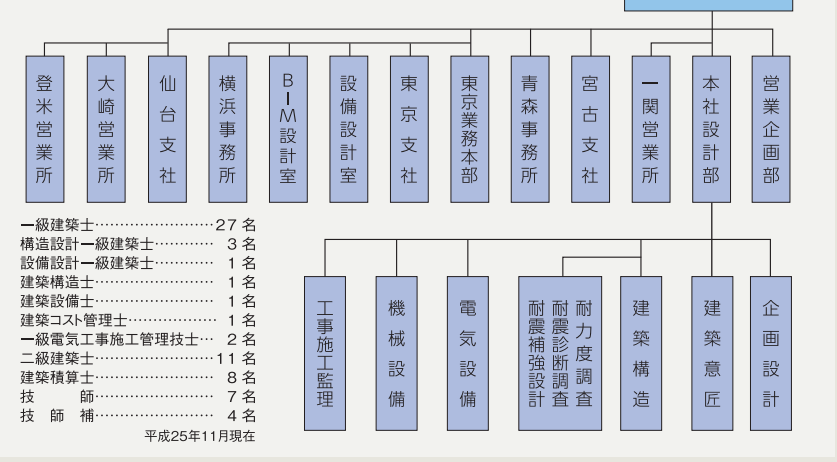
発光時(夜間) 屋外蓄光避難場所看板

設計担当者紹介 常務執行役員建築設計部統括 一級建築士 田村 徳好

大ケロ一丁目住宅の計画・設計にあたっては、まちの記憶継承による「大槌らしさ」を生かした復興への寄与と、暮らしやすい住環境を構築するための設計手法、集まって住むことで生まれる親密な地域交流の育成の工夫など災害公営住宅の担う役割を明確にしながら設計に取り組みました。被災者の生活再建の基盤となる住宅の建設はまだまだこれからです、資材不足や高騰建設従事者不足などの諸問題もありますが、一日でも早く新しい生活ができるようこれからも尽くしてまいります。



組織図 The organizational structure



KUJI ARCHITECTS NETWORK

本社	岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL.019-624-2020/FAX.019-622-7720 [岩手県知事登録(さ)第5号] (社)岩手県建築士事務所協会会員	東京業務本部 東京支社	東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階 TEL.03-6682-4111 FAX.03-6682-4070/FAX.03-6682-4071 [東京都知事登録第54196号](社)東京都建築士事務所協会会員
一関営業所	岩手県一関市山目字前田42-8 TEL.0191-26-2006/FAX.0191-23-7550 [岩手県知事登録(あ)第1657号]	横浜事務所	神奈川県横浜市港北区箕輪町1-8 TEL.045-286-0092/FAX.045-286-0093
宮古支社	岩手県宮古市和見町7-21 2F TEL.0193-71-1380/FAX.0193-71-1381 [岩手県知事登録(あ)第1651号]	仙台支社	宮城県仙台市青葉区八幡5-3-11 久慈設計仙台ビル TEL.022-727-8780/FAX.022-727-8781 [宮城県知事登録第12510018号]
青森事務所	青森県青森市岡造道1-12-16 TEL.017-765-4767/FAX.017-765-4768 [青森県知事登録第1596号]	大崎営業所	(社)宮城県建築士事務所協会会員 宮城県大崎市古川小泉字大小441-1 エクセレントファム102号 TEL.0229-24-5020/FAX.0229-24-5029
		登米営業所	宮城県登米市迫町北方字山ノ上35番地4-103号 TEL.0220-21-5633/FAX.0220-21-5644

(社)公共建築協会会員 (社)日本建築協会会員 (社)文教施設協会専門会員 (社)日本建築士会連合会会員
(社)日本建築士事務所協会会員 (社)日本医療福祉建築協会会員 (社)日本建築積算協会会員 (社)日本コンストラクション・マネジメント協会会員



特集

いつまでも住み続けたいまち“おおつち”
大槌町営 大ケロ一丁目住宅

2013
11月号
Vol.104

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計®



<http://www.kuji-act.com/>



おおつち
大槌町営
おがくち
大ケロー丁目住宅

施工地／岩手県上閉伊郡大槌町
大ケロー丁目1
竣工年月／平成25年8月
敷地面積／12,708㎡
延床面積／4,047㎡
構造／木造長屋1～2階建(12棟)
戸数／70戸
1DK:27戸
2DK:17戸(車椅子対応4戸)
3DK:20戸
4DK:6戸

忘れてはならない記憶

岩手県沿岸南部に位置する大槌町は、東日本大震災の津波により住宅地・市街地面積の約50%に当たる4km²が浸水し、町内全家屋の60%に当たる約3,800棟が全壊または半壊となり、町の中心部で発生した火災も被害を拡大し、犠牲になられた方々は行方不明者を含めて1,200人を超え多大な被害を受けました。震災直後は町内に数箇所の避難所が設けられ最大6,000人の町民が避難生活をしておりましたが、その後整備された2,000戸を超える仮設住宅での仮住まいは、震災後2年7か月を経過した今なお続き、被災者の生活再建はまだまだ不透明な状況にあります。謹んで、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

平成25年8月に完成した大槌町営大ケロー丁目住宅は、大槌町において初めて竣工した災害公営住宅で、独立行政法人都市再生機構が被災3県で計画している復興支援事業において初めて完成した事業です。復興まちづくりの初動期の事業において大槌町の再生のために今後の住まいづくりの指針的な役割を担いながら、被災者の生活再建と地域コミュニティの再生を図る施設としてその役割を果たします。



被災した町役場



建物に乗り上げた観光船



火災を受けた小学校

地域と融和する住まいづくり

豊富な山林資源と大槌川に接する豊かな水資源を有する当地域での新築計画においては、豊かな自然とともに歩んできた人々の営みの継承と周辺環境との調和に配慮する施設計画を行いました。外観は里山の風景や周囲の街並みになじむよう圧迫感を与えない木造長屋形式の低層和風建築とし、木造の軸組を強調した真壁風のデザインにより周囲に落ち着きある表情を与え、既存住宅と融和する地域のシンボルとして景観を形成しております。また、建設に用いた木材の約6割は大槌町産材(杉材)を使用し、地域の復興に地域の資源を最大限に活用する「大槌らしい住まい」を実現いたしました。



集会所



A棟(車椅子対応住戸)



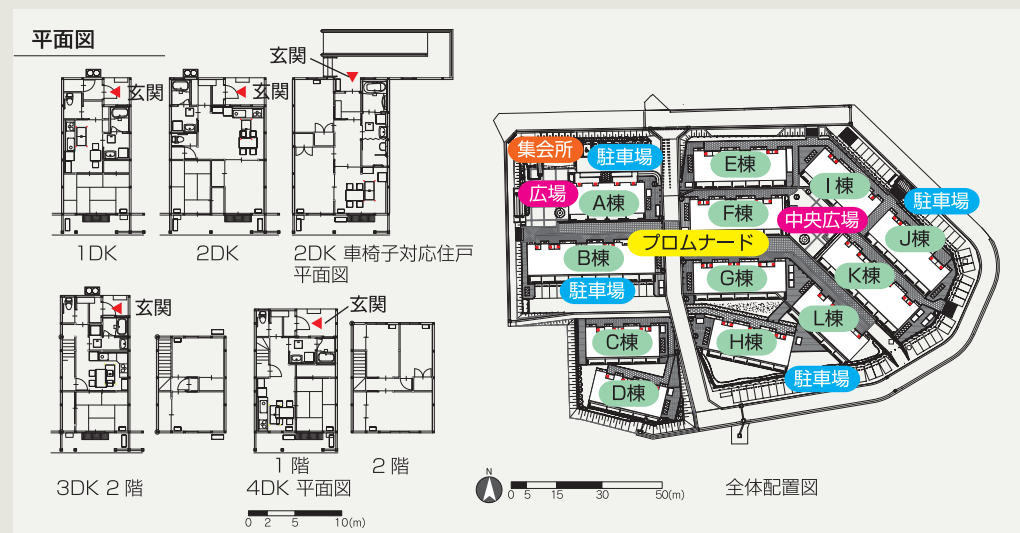
G棟



K棟



J棟



新しいコミュニティの創出

震災で失われた地域コミュニティの再生に向け、住民が自発的に集い自然に交流が生まれる住環境づくりに努めました。団地の入口となる北西の角地には大ケ口地域との交流の場として集会場と広場を配置して地域との結びつきを強め、中央の広場には水遊びや散水に利用できる手押しポンプの井戸を設置し、井戸端会議などの日常的な団地内コミュニティを育みます。また、各棟の住戸構成として単身者や高齢者の入居が想定される1DKタイプの住戸が団地内で孤立することがないように、ファミリー世帯層の2DKタイプなどに接続させて配置し、長屋住宅での世代・世帯の偏りがない交流を生む住戸構成といたしました。



中央広場



手押しポンプの井戸

暮らしやすさへの配慮

高齢者や車椅子利用の居住者への配慮としてユニバーサルデザインに基づく住宅づくりを徹底いたしました。外部から玄関入口まではスロープを設け段差を解消し、住戸内には手すりを設置し、扉などの建具は引き戸とするなど出入りしやすい計画といたしました。また、キッチンの流し台や浴室は車椅子対応の仕様とするなど安心して快適な生活が送れるよう細やかな配慮を行いました。



玄関



浴室



車椅子仕様流し台



和室